



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 天昇電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 安藤 武彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 横山 彰

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,266	△31.2	△180	—	△452	—	△595	—
23年3月期第3四半期	16,370	△3.2	530	—	117	—	△57	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △785百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △301百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△37.04	—
23年3月期第3四半期	△3.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,098	2,356	12.0
23年3月期	19,988	3,233	14.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,044百万円 23年3月期 2,879百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,080	△28.1	80	△90.5	△280	—	△470	—	△29.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	17,014,000 株	23年3月期	17,014,000 株
24年3月期3Q	1,139,483 株	23年3月期	27,813 株
24年3月期3Q	16,072,999 株	23年3月期3Q	16,987,615 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により様々な産業の生産活動に甚大な影響が生じたことに加え、原発事故に伴う電力不足、夏以降の円高の進行、タイの洪水によるサプライチェーンの混乱などにより低調に推移しました。

一方、海外は、これまで強い経済成長を続けてきた中国や東南アジア等の新興国でも、金融政策の引き締め等の影響を受け成長率が減速し、欧州諸国も財政問題等があり、世界経済の下振れリスクが高まり、先行き不透明感を増してきております。

このような状況の下、当社グループのコア事業でありました薄型TV外装部品分野におきましては、予測していたところではありますが、2011年7月の地デジ切替後の販売台数の大幅な減少と予想を超える価格低下、その上、円高によるお取引先の生産拠点の海外移転、加えてタイの洪水の影響による部品供給不足に伴う生産調整が行われた為に、非常に厳しい状況が続いております。

一方、自動車部品は、新製品の金型の受注は好調に推移しておりますが、その量産時期は大部分が2012年夏以降となっております。また、医療機器部品、照明部品、事務機部品等、新規取引先の開拓を積極的に展開しております。

その結果、売上高は112億66百万円（前年同四半期比31.2%減）となりました。損益面では、営業損失1億80百万円（前年同四半期は5億30百万円の利益）、経常損失4億52百万円（前年同四半期は1億17百万円の利益）、四半期純損失5億95百万円（前年同四半期は57百万円の損失）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

## 日本成形関連事業

売上高は93億43百万円（前年同期比30.8%減）となりました。

薄型TV部品は地デジ切替終了及び価格低下の影響を受け大幅に減少しました。自動車部品も震災の影響から脱却し始めた矢先のタイの洪水の影響を受け伸び悩みました。

## 中国成形関連事業

売上高は3億8百万円（前年同期比46.1%減）となりました。

中国国内での価格競争が激化し、売上が減少しております。

## ポーランド成形関連事業

売上高は14億8百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

薄型TV部品の新型立上げがずれ込んだこと等により売上が減少しております。

## 不動産関連事業

国内3拠点の賃貸物件から構成されており、売上高は前年同四半期と同水準の2億25百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、170億98百万円（前連結会計年度末比28億90百万円減）となりました。

流動資産は、現金及び預金が30億17百万円（前連結会計年度末比24億54百万円減）、受取手形及び売掛金が34億97百万円（前連結会計年度末比83百万円減）と前連結会計年度末に比べ減少したこと等により、78億39百万円（前連結会計年度末比21億78百万円減）となりました。

固定資産は、生産設備投資及び減価償却実施などにより、92億58百万円（前連結会計年度末比7億12百万円減）となりました。

## ②負債

負債合計は、147億41百万円（前連結会計年度末比20億13百万円減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が35億34百万円（前連結会計年度末比17億47百万円減）、借入金37億34百万円（前連結会計年度末比4億86百万円増）等により、87億99百万円（前連結会計年度末比14億70百万円減）となりました。

固定負債は、借入金47億85百万円（前連結会計年度末比3億85百万円減）等により59億42百万円（前連結会計年度末比5億43百万円減）となりました。

## ③純資産

純資産合計は、四半期純損失の計上等により、23億56百万円（前連結会計年度末比8億77百万円減）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

## 通期の見通し

事業環境は引続き厳しい状況が継続しております。売上高は、国内での薄型TV部品が東日本大震災の影響及び7月の地デジ切替、夏以降の円高、タイの洪水の影響による部品供給不足問題等により大幅に減少しております。中国でも、ローカル企業との価格競争の激化などにより、売上高全体では前回予想に比べ14億20百万円減少の150億80百万円となる見込みです。

営業損益は、売上の減少に伴う損益の悪化などにより、前回予想に比べ2億90百万円悪化の80百万円の利益となる見込みです。経常損益は、営業損益の悪化及び為替差損の発生により、前回予想に比べ4億40百万円悪化の2億80百万円の損失となる見込みです。

当期純損益は、経常損益の悪化に加え、特別損失に固定資産除却損等を計上したこと、また、税制改正及び今期の業績予想を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産を取り崩したことなどにより、前回予想に比べ4億90百万円悪化の4億70百万円の損失となる見込みです。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

## (会計上の見積りの変更)

当社グループの連結子会社である天昇ポーランドコーポレーション及び持分法適用関連会社である天昇アメリカコーポレーションの機械及び装置は、従来、耐用年数5年として減価償却を行っていましたが、当初予定による残存耐用年数と現在以降の経済的使用可能予測期間との乖離が明らかになったことにより、当第1四半期連結会計期間より耐用年数を8年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が68百万円減少し、営業損失は68百万円減少、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は95百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,472	3,017
受取手形及び売掛金	3,580	3,497
製品	251	260
原材料	424	435
仕掛品	91	112
その他	198	516
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,018	7,839
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,174	3,719
土地	2,390	2,379
その他（純額）	2,267	2,152
有形固定資産合計	8,831	8,251
無形固定資産		
投資その他の資産	35	30
その他	1,133	1,005
貸倒引当金	△29	△28
投資その他の資産合計	1,104	977
固定資産合計	9,970	9,258
資産合計	19,988	17,098
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,282	3,534
短期借入金	800	883
1年内返済予定の長期借入金	2,447	2,850
未払法人税等	282	3
賞与引当金	5	124
その他	1,452	1,402
流動負債合計	10,270	8,799
固定負債		
社債	25	—
長期借入金	5,171	4,785
資産除去債務	41	41
その他	1,247	1,114
固定負債合計	6,485	5,942
負債合計	16,755	14,741

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	1,210	614
自己株式	△6	△116
株主資本合計	3,310	2,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	△28
為替換算調整勘定	△439	△532
その他の包括利益累計額合計	△431	△560
新株予約権	—	17
少数株主持分	354	293
純資産合計	3,233	2,356
負債純資産合計	19,988	17,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	16,370	11,266
売上原価	14,122	9,789
売上総利益	2,247	1,477
販売費及び一般管理費	1,717	1,657
営業利益又は営業損失(△)	530	△180
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	10	13
助成金収入	7	26
その他	42	64
営業外収益合計	68	112
営業外費用		
支払利息	194	162
為替差損	142	198
持分法による投資損失	110	6
その他	34	18
営業外費用合計	482	385
経常利益又は経常損失(△)	117	△452
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	2
貸倒引当金戻入額	6	—
特別利益合計	6	2
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—
前期損益修正損	8	—
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	4	86
投資有価証券売却損	1	3
貸倒損失	7	—
災害損失	—	16
特別損失合計	52	106
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72	△556
法人税等	147	61
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75	△617
少数株主損失(△)	△18	△22
四半期純損失(△)	△57	△595



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75	△617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△36
為替換算調整勘定	△161	△112
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	△18
その他の包括利益合計	△226	△167
四半期包括利益	△301	△785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△232	△724
少数株主に係る四半期包括利益	△69	△60

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。